

清流

広報誌タイトルは伊藤博院長みずからのネーミングによるもので、患者さま一人ひとりに対して職員全員が厘川の清き流れの如く澄んだ気持ちでおだやかに思いやりを持ちながら対応させて頂ければと考えております。



清流

●伊藤病院だより

第3巻3号

平成16年10月15日発行

●発行所●

伊藤病院

〒920-0976

石川県金沢市十三間町98

TEL(076)263-6351(代)

FAX(076)263-2526

●印刷●

高桑美術印刷(株)



骨粗しょう症について

伊藤病院院長 伊藤 順

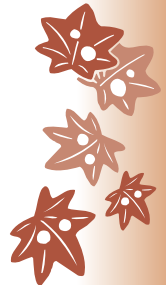
骨粗鬆症とは骨の量や質が減少、低下し骨が変化して弱くなり、骨折しやすくなった状態です。女性では70歳、男性では80歳後半で約半数以上が骨粗鬆症が起るといわれます。高齢者の骨折は、寝たきりの原因になることもあるので注意が必要です。脊推がつぶれたり、変形すると脊中の痛みや腰痛が現れます。

骨粗鬆症が疑われる場合は、エックス検査、骨密度の測定を行います。治療は、最近薬の開発が進み、骨折を防ぐ効果のある薬が登場しています。

病院の理念

患者さま中心の信頼される質の高い医療を目指します。

地域との連携を大切にし、地域の保健・福祉に貢献致します。



医療被曝を考える

放射線はこわくない！

Vol.2

放射線技師 橋本 香織

前号に引き続き医療被曝についてお話いたします。

「放射線ホルミシス」という言葉をご存知でしょうか。少しの放射線は体に良い作用があるという意味です。

米国で5 mSv以上の被曝を受けた原子力船作業者（28、542名）と対象者（33、352名）では原子力船作業者がむしろ癌による死亡は15%少ない結果となっています。

また、私たちは日々自然放射線を受けて生活しており、その量は年平均1.1 mSvです。大地からも放射線を浴びていて日本で年平均0.4 mSvですが、イラン北部（ラジウム温泉で有名な地です）では約10.2 mSvにもなります。他にも中国、インド、米国などは比較的線量が多いのですが、この地域住民の疫学研究で癌死亡率が低下しているという報告もあります。毒か薬かは量で決まる、ということでしょうか。

といってもやはり無意味な被曝は避けるべきです。各検査での線量は胸部X線写真0.06 mSv、胸部CT 6.9 mSv、頭部CT 0.49 mSvとなっています。当院では4月にX線写真の現像機と使用するフィルムを変えたことで以前より低

線量で良い写真が撮れるようになりました。また、CT装置には本撮影の前の仮撮影で装置が患者さまの体型を認識し、一枚の画像毎に線量を設定する機能が備わっています。この機能によりかなりの患者さまの被曝低減が実現しています。

放射線の医学利用において肝心なことは「被曝による損失」と「病気の診断という利益」のバランスです。

これはつまり、放射線診断から患者さまが享受する恩恵と発癌のリスクを考慮して被曝減少に努めることであると考えこれからも日々努力していこうと思っております。



外来看護部紹介

私たち外来看護部は主に、診察時の介助や、採血、注射、点滴、心電図、身体計測、血圧測定など診療の補助業務を行っています。私たちは、話し易い環境に配慮し、気になった表情や、態度には声をかけるように気をつけています。元気さと笑顔をもっとに外来患者さまが、なるべくスムーズに診察が受けられ、少しでも満足して帰宅していただけたらという思いで励んでおります。



左から本田祐子看護師、西村節子看護師総経理、久保節子看護師

栄養部 だより

きのこいろいろ

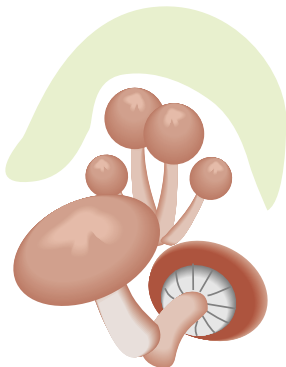
栄養士 森田 京子

きのこのおいしい季節を迎え、きのこ売り場を見渡すとおなじみのしいたけやしめじに交じり、新顔のきのこが並ぶようになりました。

ブラウンえのきだけ、花びらたけ、白まいたけ、ホワイトぶなしめじ、やまぶしたけ、ポットペラなどです。

きのこは低カロリーで食物繊維が多く、ダイエット食としても知られますが、ほかにもヘルシーな成分がいろいろ。エネルギー代謝を促すビタミンB1やB2、カルシウムの吸収を助けるビタミンDなど。さらに注目されるのが制がん作用や免疫力を高めるβ-グルカンの存在です。多少の違いはありますが、どのきのこにもそれぞれ含まれています。

ぜひ、三食の献立の中にバランスよく取り入れて、毎日でもいただきたいですね。



診察のご案内

診療時間		月	火	水	木	金	土
午前	9:00	伊藤 博 伊藤 順	伊藤 順	石澤友海子	伊藤 順	伊藤 博 伊藤 順	伊藤 透 伊藤 順
	13:00						
午後	14:00	伊藤 順 PM4:00~ 伊藤 透	伊藤 順	藤岡 央	伊藤 順	伊藤 順	
	17:30						

内視鏡検査日：月、火（胃・大腸）
水、土（胃）

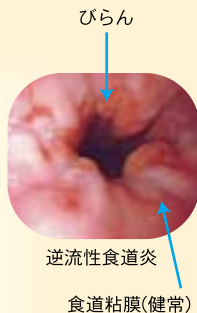
■外来診療時間

平日受付 8:00~13:00 14:00~17:30
土曜日受付 8:00~13:00
休 診 日 日曜・祝日及び12月31日~1月3日



— 逆流性食道炎 —

胃・食道逆流症 (GERD) は、胃酸を中心とする胃内容物の食道内逆流により生じる症状ないし下部食道粘膜障害 (逆流性食道炎) をまとめた疾患概念です。胸焼け症状を伴う胃・食道逆流症は欧米に多く、わが国では頻度の低い状況でしたが、近年、増加の傾向です。その原因は、本疾患の好発年齢である高齢者人口の増加、食生活の欧米化、ヘリコバクター・ピロリ菌除菌療法症例の増加、医師・患者さまの逆流性食道炎に対する関心の高まり、内視鏡機器の進歩、食道疾患に対する診断能力の向上などが挙げられます。また、慢性咳嗽、気管支喘息、咽喉頭異常感症、非心臓性胸痛などはGERDとの関係で、消化器科以外の、呼吸器、循環器科などに注目されている疾患でもあります。写真は胸焼けで来院された35歳の男性の内視鏡写真です。典型的な食道下部のヘルニアと下部食道の粘膜障害 (びらん、発赤) が認められ逆流性食道炎と診断されました。PPI (プロトンポンプインヒビター) というお薬で症状は著名に改善されておられます。同じような症状のある方はお気軽にご相談ください。



駐車場 収容台数15台

交通のご案内

- 北鉄バス
片町 (金劇バシオン前)下車 徒歩5分
片町 (ラブリ前)下車 徒歩10分
野町・広小路下車 徒歩7分
- 城下まち金沢周遊バス
十三間町 (伊藤病院前)下車
- タクシー
JR金沢駅より10分

編集委員/伊藤 透 橋本 香織 松本 幸子 坪坂 薫 丸山 康子 川瀬 裕子 本田 祐子

伊藤病院 日本医療機能評価機構認定病院
〒920-0976 金沢市十三間町98
TEL (076) 263-6351(代) FAX (076) 263-2526